令和６年度岩手県政策評価委員会

日　時　令和７年２月10日（月）10：00～11：00
場　所　岩手県庁　12階特別会議室

次　　第

１　開　　会

２　あいさつ

３　議　　事

（１）　令和６年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について（報告）

（２）　令和６年度政策評価結果等の政策等への反映状況について（報告）

（３）　令和７年度の各専門委員会の開催予定について

（４）　その他

４　閉　　会

≪配布資料≫
資料１　　令和６年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況
資料２　　令和６年度政策評価結果等の政策等への反映状況　概要版・本編
資料３　　令和７年度の各専門委員会の開催予定
参考資料　いわて県民計画（2019～2028）第２期アクションプラン「政策推進プラン」の見直しについて

岩手県政策評価委員会委員名簿（五十音順）

（令和６年４月１日現在）

氏　　名	職　　名	専門分野
石川　奈緒	岩手大学理工学部 准教授	土木環境
市島　宗典	白鷗大学法学部 教授	公共政策 政策評価
五日市　知香	株式会社パイロットフィッシュ 代表取締役	商工 農水産業
伊藤　幸男	岩手大学農学部 准教授	林政学
狩野　徹	佐久大学人間福祉学部 教授	都市計画 建築計画
島田　悦作	岩手県立大学総合政策学部 准教授	財政学、農業経済学 環境経済学
清水　真弘	清水真弘事務所 公認会計士・税理士	企業会計
竹内　貴弘	八戸工業大学 教授	海洋工学 水工学
竹村　祥子	浦和大学社会学部 教授	家族社会学
谷本　真佑	岩手大学理工学部 准教授	交通工学
濵上　邦彦	岩手大学農学部 准教授	農業土木 水工学
松木　佐和子	岩手大学農学部 講師	森林 環境
松林　由里子	岩手大学理工学部 助教	海岸工学 水工学
松山　梨香子	(一財)岩手県建築住宅センター 一級建築士	建築
武藤　由子	岩手大学農学部 准教授	農業土木
森　直子	一般財団法人機械振興協会経済研究所 研究副主幹	経済学（中小企業、産業集積）
八重樫　健太郎	北光監査法人 公認会計士	企業会計
山本　英和	岩手大学理工学部 准教授	地震工学
吉野　英岐	岩手県立大学総合政策学部 教授	地域社会学
和川　央	岩手県立大学宮古短期大学部 准教授	公共政策 社会工学

岩手県政策評価委員会委員名簿（専門委員会別、五十音順）

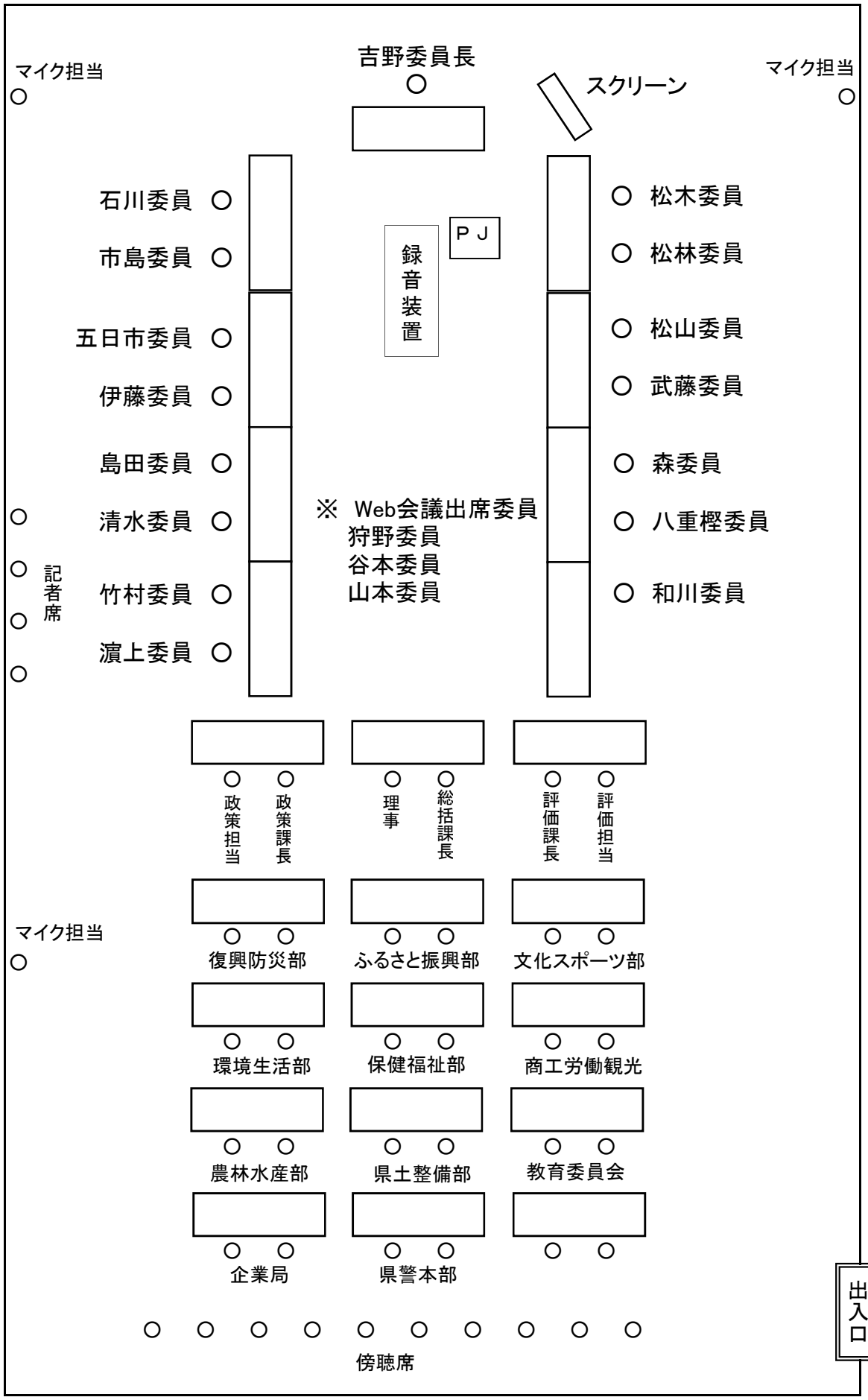
（令和６年４月１日現在）

	氏　名	職　名	専門分野
政策評価専門委員会（６名）	市島　宗典（いちしま　むねのり）	白鷗大学法学部 教授	公共政策 政策評価
	五日市　知香（いつかいち　ちか）	株式会社パイロットフィッシュ 代表取締役	商工 農水産業
	竹村　祥子（たけむら　さちこ）	浦和大学社会学部 教授	家族社会学
	森　直子（もり　なおこ）	一般財団法人機械振興協会経済研究所 研究副主幹	経済学（中小企業、産業集積）
	吉野　英岐（よしの　ひでき）	岩手県立大学総合政策学部 教授	地域社会学
	和川　央（わがわ　ひろし）	岩手県立大学宮古短期大学部 准教授	公共政策 社会工学
公共事業評価専門委員会（６名）	石川　奈緒（いしかわ　なお）	岩手大学理工学部 准教授	土木環境
	伊藤　幸男（いとう　さちお）	岩手大学農学部 准教授	林政学
	清水　真弘（しみず　まさひろ）	清水真弘事務所 公認会計士・税理士	企業会計
	谷本　真佑（たにもと　しんすけ）	岩手大学理工学部 准教授	交通工学
	松林　由里子（まつばやし　ゆりこ）	岩手大学理工学部 助教	海岸工学 水工学
	武藤　由子（むとう　よしこ）	岩手大学農学部 准教授	農業土木
大規模事業評価専門委員会（８名）	狩野　徹（かのう　とおる）	佐久大学人間福祉学部 教授	都市計画 建築計画
	島田　悦作（しまだ　えつさく）	岩手県立大学総合政策学部 准教授	財政学、農業経済学 環境経済学
	竹内　貴弘（たけうち　たかひろ）	八戸工業大学 教授	海洋工学 水工学
	濵上　邦彦（はまがみ　くにひこ）	岩手大学農学部 准教授	農業土木 水工学
	松木　佐和子（まつき　さわこ）	岩手大学農学部 講師	森林 環境
	松山　梨香子（まつやま　りかこ）	(一財)岩手県建築住宅センター 一級建築士	建築
	八重樫　健太郎（やえがし　けんたろう）	北光監査法人 公認会計士	企業会計
	山本　英和（やまもと　ひでかず）	岩手大学理工学部 准教授	地震工学

令和６年度　岩手県政策評価委員会　座席表

日時：令和７年２月10日（月）10:00～11:00

会場：岩手県庁　12階特別会議室



資料１

令和６年度　政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況

R7.1.31 現在

	政策評価	事務事業評価	公共事業評価	大規模事業評価
県の取組（評価の実施状況等）	○　総合計画の実施計画に掲げる政策分野、政策項目、具体的推進方策及び構成事務事業を対象として、指標の状況や社会経済情勢等を踏まえて評価	○　事務事業のうち、政策推進プランを構成する事業及びその他の政策的な事業を対象として、指標の状況や必要性等を踏まえて評価	○ **「事前評価」「継続評価」「再評価」**では、「必要性、重要性、緊急性、効率性及び熟度の指標」や「自然環境等の状況及び環境配慮事項」などの評価を踏まえ、**総合評価（事業実施、事業継続等）**を実施 ○ **「事後評価」**では、「事業の効果」や「利用者等の意見」、「社会経済情勢及び自然環境等の変化」を踏まえ、当該地区の課題、今後の同種事業のあり方や事業評価手法の見直しの必要性等**を**把握 ○ **公共事業の再評価、大規模事業の事前評価・再評価**については、**委員会に諮問**し、審議（事後評価は報告）	
	①「主要施策の成果に関する説明書」の作成・議会報告（９月）			
	「いわて県民計画（2019～2028）」第２期政策推進プランに掲げた「いわて幸福関連指標」及び「具体的推進方策指標」の動向を中心に令和５年度の取組実績を取りまとめ	第2期政策推進プラン**構成事業の「活動内容指標」及び「成果指標」**の令和5年度の実績を取りまとめ		
	②「政策評価等の実施状況報告書（政策評価レポート 2024」の作成・議会報告（11 月）		＜評価実施地区数：299 地区（1月末時点）＞ ・ 事前評価　36 地区 ・ 継続評価　246 地区 ・ 再評価　15 地区 ・ 事後評価　2 地区	＜評価実施地区数：25 地区（1月末時点）＞ ・ 事前評価　3 地区 ・ 継続評価　17 地区 ・ 再評価　3 地区 ・ 事後評価　2 地区 ※　諮問した評価地区で県民意見を募集（パブリックコメント）実施（6月諮問分 6/14～7/19、11 月諮問分 11/20～12/19）
	第2期政策推進プランに基づき、指標の達成状況や県民の実感、政策を取り巻く状況等を踏まえ、総合的に評価し、**課題と今後の方向**を取りまとめ	各指標の実績に加え、上位施策との政策体系等を踏まえつつ事業の必要性や有効性を考慮して、**今後の方向（拡充、継続（見直しあり）、継続、廃止等）**を取りまとめ		
	③「政策評価結果等の政策等への反映状況報告書」の作成・議会報告（２月）			
	評価結果の**令和7年度の政策等への反映状況**（新規事業創設、既存事業拡充等）を取りまとめ	評価結果を踏まえた各事業への**令和７年度当初予算案における措置の状況**を取りまとめ		
各専門委員会の開催状況等	**政策評価専門委員会** 【開催　2回】 ① **第1回（7月 16 日）** ・ 令和5年度主要施策の成果に関する説明書の作成状況 ② **第2回（10 月 31 日）** ・ 令和6年度政策評価等の実施状況（政策評価レポート 2024）		**公共事業評価専門委員会** 【開催　5回】（6～9月、現地調査含む） ① **再評価地区の審議（15 地区）〔6月～9月〕** ・経営体育成基盤整備事業　角川原地区（奥州市） ・農村災害対策整備事業　岩手山麓地区（盛岡市、滝沢市） ・農村地域防災減災事業　北照井堰（一関市、平泉町） ・農村地域防災減災事業　猿ヶ石北部幹線（奥州市） ・農道整備事業　上新田一ノ沢（一関市） ・林道整備事業　牛伏高徳線（宮古市） ・林道整備事業　平根線（大船渡市） ・林道整備事業　平泉沢線（田野畑村） ・林道整備事業　鎌峯沢線（陸前高田市） ・林道整備事業　鷹ノ巣・鰻沢線（葛巻町） ・地域連携道路整備事業（地域密着型）　一般県道大川松草線　本町～大広（岩泉町） ・地域連携道路整備事業（地域密着型）　主要地方道盛岡環状線　滝向（滝沢市） ・総合流域防災事業（地すべり）　一級河川北上川水系　八幡平（八幡平市） ・広域河川改修事業　一級河川北上川（下流）　川崎ほか（盛岡市） ・治水施設整備事業　一級河川北上川水系人首川　次丸（奥州市） ② **事後評価地区の報告（2地区）〔9月〕** ・経営体育成基盤整備事業　六原地区（北上市、金ケ崎町）＜農林水産部＞ ・（プロジェクト構成事業）港湾改修事業・港湾施設整備事業　大船渡港　永浜・山口地区（大船渡市）＜県土整備部＞ ○ **第5回〔2月 10 日〕** ・ 公共事業評価実施要領及び評価基準の一部改正	**大規模事業評価専門委員会** 【開催　6回】（6～1月、現地調査含む） ① **事前評価地区の審議（3地区（延べ4地区））〔6月～8月〕** ・岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校校舎等新築事業（宮古市）【基本構想後】 ・紫波警察署庁舎等整備事業（紫波町）【基本設計後】 **〔11 月～1月〕** ・岩手県福祉・消費生活関連相談拠点施設（仮称）整備事業（盛岡市）【基本設計後】 ・岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校校舎等新築事業（宮古市）【基本設計後】 ② **再評価地区の審議（3地区）〔6月～8月〕** ・若柳中部経営体育成基盤整備事業（奥州市） ・馬淵川広域河川改修事業（二戸市、八幡平市、一戸町） ・都市計画道路整備事業　盛岡駅本宮線（杜の大橋）（盛岡市） ③ **事後評価地区の報告（2地区）〔8月〕** ・高森高原風力発電所（一戸町） ・押角峠地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）（宮古市、岩泉町）

資料２

令和６年度政策評価結果等の政策等への反映状況の概要

第１　政策評価及び事務事業評価の反映状況

○　政策評価及び事務事業評価については、令和５年度の各指標の実績を取りまとめた「主要施策の成果に関する説明書・いわて県民計画実施状況報告書」を９月に作成した後、令和７年度以降の政策形成に向け、政策等の現状、課題や今後の方向を「政策評価レポート」として11月に取りまとめました。

○　今回、これら政策評価等における令和７年度の政策等の立案、予算編成等への反映状況について、政策等の評価に関する条例（平成15年岩手県条例第60号）第８条の規定に基づき、県議会に報告するとともに、県のホームページ等で公表するものです。

○　今後も、政策評価の仕組みに基づくマネジメントサイクルを確実に機能させ、施策等の実効性を高め、政策推進プランの着実な推進に取り組みます。

１　政策評価結果の反映状況

・　政策評価は、いわて県民計画（2019～2028）第２期アクションプラン・政策推進プランを構成する10の政策分野及び50の政策項目を対象に実施しました。

・　これを踏まえ、**「新規事業の創設」**（43事業）や**「既存事業の拡充」**（59事業）、**「制度・組織体制の見直し」**を行うなど、評価結果を令和７年度の施策、事業等に反映させました。

（１）　反映状況

※　重複を避けるため、再掲事業等を除いて集計している。

政策分野	政策項目数	主な反映結果		
		新規事業の創設	既存事業の拡充	制度・組織体制の見直し
Ⅰ　健康・余暇	5	7	6	0
Ⅱ　家族・子育て	5	2	2	3
Ⅲ　教育	10	6	6	1
Ⅳ　居住環境・コミュニティ	6	5	5	0
Ⅴ　安全	4	1	1	2
Ⅵ　仕事・収入	9	17	33	2
Ⅶ　歴史・文化	2	1	0	0
Ⅷ　自然環境	3	2	2	4
Ⅸ　社会基盤	4	1	2	0
Ⅹ　参画	2	1	2	1
合計	50	43	59	13

（2） 主な反映内容

政策分野	区分	反映内容
Ⅰ 健康・余暇	新規	医師の確保及び勤務環境改善に対応するため、**「勤務環境改善医師派遣等推進事業費補助（R7予算53,700千円）」**を創設し、長時間労働医師が所属する地域の重要な役割を担う医療機関において、今後も確実な医師派遣が継続されるよう派遣元・派遣先医療機関の双方への支援に取り組みます。
	新規	県民の安心を確保するとともに、医療機関の負担軽減を図るため、**「救急安心センター事業運営費（R7予算25,516千円）」**を創設し、医療機関の受診や救急車の要請に迷う場合の電話相談窓口 #7119 を設置して、県民の適切な受診行動の促進に取り組みます。
Ⅱ 家族・子育て	拡充	成婚数増加に向けて、結婚支援を強化するため、**「岩手であい・幸せ応援事業費（R7予算54,746千円）」**を拡充し、“いきいき岩手”結婚サポートセンター「i-サポ」の会員を対象とした婚活スキルアップセミナーを新たに実施するほか、引き続き「結婚支援コンシェルジュ」の配置等による交際から成婚に至るまでのフォローアップ、企業・市町村等と連携したイベントの開催等による出会いの場の創出に取り組みます。
	新規	県が保護する動物の返還・譲渡を推進し、殺処分ゼロを目指すとともに、動物愛護の普及啓発を推進するため、**「動物愛護管理センター整備事業費（R7予算30,870千円）」**を創設し、県と盛岡市が一体となって動物愛護管理センターの整備を進めるとともに、県全域において、一体的かつ効果的な動物愛護管理体制の整備を推進します。
Ⅲ 教育	拡充	不登校児童生徒の学校内での学びの場や居場所を確保するため、**「いじめ不登校対策事業費（校内教育支援センター等体制整備事業費）（R7予算20,288千円」**を拡充し、市町村の校内教育支援センターの支援員の配置に対する支援等に取り組みます。
	拡充	ものづくり産業への進路選択や就職につなげるため、**「未来のものづくり人材育成・地元定着促進事業費（R7予算25,598千円）」**を拡充し、地域ものづくりネットワーク等を中心とした各段階に応じた人材育成を推進するとともに、新たに女子中高生等を対象にものづくり企業で活躍する女性社員等との意見交換などの取組を推進します。
Ⅳ 居住環境・コミュニティ	拡充	市町村による地域公共交通網の構築を支援するため、**「地域公共交通再編・活性化推進事業費（R7予算15,840千円）」**を拡充し、引き続き地域公共交通計画の策定支援に取り組むとともに、同計画の実施計画である利便増進実施計画の策定に向けた支援を強化します。
	拡充	本県への移住・定住の促進を図るため、**「いわてお試し居住体験事業費（R7予算34,735千円）」**を拡充し、県外からの移住希望者に加え、新たに農林水産業等の担い手を目指す者に対し、家電等を整備した県営住宅の低廉な家賃での提供に取り組みます。
Ⅴ 安全	拡充	個別避難計画の作成を促進するため、**「個別避難計画作成支援事業費（R7予算1,940千円）」**を拡充し、計画作成のノウハウが確立されていない、避難までの時間的猶予がないなどの特性を有する津波からの避難や、専門的な支援を要する医療的ケア児等の避難について、計画作成や避難訓練の実施等によるモデル事例の作成に取り組みます。
	新規	令和6年4月に施行した犯罪被害者等支援条例の趣旨を踏まえ、犯罪被害者等に対する支援のため、**「犯罪被害者等支援推進事業費（R7予算2,938千円）」**を創設し、国や県、市町村、関係機関、支援団体が連携して支援するためのコーディネーターを設置し体制を強化するとともに、人材育成及び県民への啓発に取り組みます。

政策分野	区分	反映内容
Ⅵ 仕事・収入	拡充	県内就業の促進やU・Iターンによる県内企業の人材確保の推進及び高校生の大学等進学後の県内就職並びにUターンの促進のため、**「いわて就業促進事業費（R7予算101,411千円）」**を拡充し、県内企業と求職者やU・Iターン希望者とのマッチング支援等に加えて、新たに外国人インターンシップの受入費用を補助する市町村の支援に取り組みます。
	拡充	本県農林水産業をけん引する女性農林漁業者を育成するため、**「幸せ創る女性農林漁業者育成事業費（R7予算8,990千円）」**を拡充し、女性が働きやすい環境整備や女性グループの経営力・自主企画力向上に向けた取組、「食の匠」による地域食文化の伝承活動などを支援するほか、新たに若者との協働等による女性農林漁業者の活躍に関する情報発信等に取り組みます。
Ⅶ 歴史・文化	新規	民俗芸能の保存・継承活動を促進するため、**「北海道・東北ブロック民俗芸能大会開催費（R7予算5,754千円）」**を創設し、令和7年に本県で開催する「第67回北海道・東北ブロック民俗芸能大会」を通じて、民俗芸能の鑑賞・発表機会の創出及び情報発信に取り組みます。
Ⅷ 自然環境	新規	令和6年4月にツキノワグマが新たに指定管理鳥獣に指定されたことを踏まえ、クマによる人身被害を防止するため、**「指定管理鳥獣対策事業費（ツキノワグマ総合対策）（R7予算56,060千円）」**を創設し、生息数の調査や個体数管理を目的とした捕獲等に取り組みます。
	拡充	三陸ジオパークが有する地域資源の発信力を強化するため、**「三陸ジオパーク推進強化事業費（R7予算10,941千円）」**を拡充し、これまでの三陸ジオパークを活用した学習会の実施等による普及促進に加え、新たにみちのく潮風トレイル等と連携した国内外への情報発信や世界各国のジオパークとの交流によるネットワーク活動に取り組みます。
Ⅸ 社会基盤	新規	持続可能な行政サービスを提供するため、**「生成型AI利活用基盤構築事業費（R7予算2,493千円）」**を創設し、生成型AIを活用した業務の変革を促進する環境構築に取り組みます。
	拡充	クルーズ船の寄港拡大を図るため、**「クルーズ船誘致プロモーション事業費（R7予算8,224千円）」**を拡充し、観光資源など「岩手の魅力」を知っていただくモニターツアーを新たに実施するなど、国内外の船社等を対象としたプロモーションに取り組みます。
Ⅹ 参画	新規	地域社会におけるジェンダーギャップを解消し、女性活躍を推進するため、**「固定的性別役割分担意識解消促進事業費（R7予算3,054千円）」**を創設し、アンコンシャス・バイアスの専門家による啓発活動や出張セミナーなどの意識啓発に取り組みます。
	拡充	若者の主体的な活動を支援するため、**「いわて若者活躍支援強化事業費（R7予算23,818千円）」**を拡充し、「いわて若者カフェ」の連携拠点を増設するほか、若者アイディア実現補助の採択枠の拡大や、大学等と連携した出張若者カフェ等の実施により、若者と地域の交流機会の拡大を推進します。

２　事務事業評価結果の反映状況

・　事務事業評価は、政策推進プランを構成する727事業と、プラン構成事業以外の政策的な122事業の**合計849事業を対象**に実施しました。

・　このうち、事務事業評価結果などを踏まえて**「縮減」**又は**「廃止・休止」**は**51事業**、事業内容の充実など**「拡充」**は**60事業**、**新規事業の創設**は**58事業**となりました。

・　なお、令和７年度当初予算（案）において、事務事業評価結果と反映結果の区分に相違が生じた事業は176事業です。これは、予算編成段階において県の財政状況等を踏まえ、更に精査し整理統合を進めたもののほか、国の制度改正など評価時から予算編成時までに生じた状況変化によるものです。

（１）　反映状況

区分	評価結果	反映結果	構成比（%）	増減額（百万円）※2	うち一般財源・県債	うち政策推進プラン構成事業				
						評価結果※1	反映結果	構成比（%）	増減額（百万円）※2	うち一般財源・県債
拡充	8	60	7.1%	402	36	8	59	8.1%	401	35
継続（見直しあり）	111	117	13.8%	5,173	1,010	106	110	15.1%	5,174	1,011
継続	698	594	70.0%	△ 10,673	2,289	593	498	68.5%	4,143	2,676
縮減	2	6	0.7%	△ 375	△ 16	2	6	0.8%	△ 375	△ 16
廃止・休止	8	45	5.3%	△ 2,167	△ 203	6	39	5.4%	△ 2,150	△ 196
うち純粋な廃止・休止	6	27	3.2%	△ 2,037	△ 129	4	22	3.0%	△ 2,022	△ 124
うち新規事業への統合	2	8	0.9%	△ 54	△ 27	2	7	1.0%	△ 52	△ 24
うち拡充事業への統合	0	5	0.6%	△ 46	△ 31	0	5	0.7%	△ 46	△ 31
うち継続事業への統合	0	5	0.6%	△ 29	△ 16	0	5	0.7%	△ 29	△ 16
うち縮減事業への統合	0	0	0%	0	0	0	0	0%	0	0
終了	22	27	3.2%	△ 644	△ 116	12	15	2.1%	△ 314	△ 24
小計（A）	849	849	100%	△ 8,284	3,001	727	727	100%	6,878	3,487
新規（B）	－	58	－	3,035	372	－	43	－	1,544	274
合計（A＋B）	849	907	100%	△ 5,249	3,372	727	770	100%	8,422	3,761

※１　政策評価レポート取りまとめ以降、事務事業の構成を見直したことに伴い、政策評価レポートと事業数等に異同がある。

※２　増減額は、令和６年度９月現計予算（評価時点）から令和７年度当初予算（案）の増減額である。端数処理の関係上、内訳が合計と一致しない場合がある。

（２） 政策推進プラン構成事業の政策分野別内訳

政策分野	拡充	継続（見直しあり）	継続	縮減	廃止・休止	廃止休止	新規統合	拡充統合	継続統合	縮減統合	終了	新規	計
Ⅰ　健康・余暇	6	31	84	1	9	5	3	0	1	0	0	7	138
Ⅱ　家族・子育て	2	4	47	0	2	0	1	0	1	0	0	2	57
Ⅲ　教育	6	15	85	0	5	2	1	1	1	0	3	6	120
Ⅳ　居住環境・コミュニティ	5	13	33	0	4	3	1	0	0	0	0	5	60
Ⅴ　安全	1	6	35	1	3	2	0	0	1	0	1	1	48
Ⅵ　仕事・収入	33	24	147	3	13	8	1	3	1	0	11	17	248
Ⅶ　歴史・文化	0	1	12	0	0	0	0	0	0	0	0	1	14
Ⅷ　自然環境	2	9	23	1	1	1	0	0	0	0	0	2	38
Ⅸ　社会基盤	2	4	26	0	0	0	0	0	0	0	0	1	33
Ⅹ　参画	2	3	6	0	2	1	0	1	0	0	0	1	14
合計	59	110	498	6	39	22	7	5	5	0	15	43	770

第２　公共事業評価及び大規模事業評価の反映状況

○　公共事業評価及び大規模事業評価については、必要性や効率性、環境保全への配慮等の観点から、事業の実施、継続等の方向性の評価を行い※1、その結果を「政策評価レポート」として11月に取りまとめました。

○　今回、これらの評価を予算編成等を通じて、新規事業地区の採択や既存事業地区の継続等を来年度の事業に反映させました。

○　今後も、公共事業評価等の仕組みに基づくマネジメントサイクルを確実に機能させ、事業の効率化及び重点化を進めるとともに、事業効果の早期発現に向けて事業を推進していきます。

※１　災害復旧事業及び維持管理に係る事業は評価の対象から除く。

※２　表中の予算額については、端数処理の関係上、内訳が合計と一致しない場合がある。

１　公共事業評価結果の反映状況（対象全297地区）

（１）事前評価

事前評価を行った36地区は、**全て事業採択**としました。

所管部局	評価実施地区数	評価結果				反映結果	
		ＡＡ	Ａ	Ｂ	Ｃ	事業採択 (R7当初予算額)	不採択
農林水産部	29	3	26	0	0	29 (499百万円)	0
県土整備部	7	1	6	0	0	7 (272百万円)	0
合計	36 (100%)	4 (11.1%)	32 (88.9%)	0 (0%)	0 (0%)	36 (771百万円)	0

（２）継続評価

継続評価を行った241地区のうち、**241地区は事業継続、５地区は関係機関や地元との調整等のため一時休工**としました。

所管部局	評価実施地区数	評価結果				反映結果	
		ＡＡ	Ａ	Ｂ	Ｃ	事業継続 (R7当初予算額)	一時休工
農林水産部	149	45	102	0	2	148 (8,182百万円)	1
県土整備部	97	22	70	3	2	93 (8,108百万円)	4
合計	246 (100%)	67 (27.2%)	172 (69.9%)	3 (1.2%)	4 (1.6%)	241 (16,290百万円)	5

（３）再評価

再評価を行った15地区は、**全て事業継続**としました。

所管部局	評価実施地区数	評価結果						反映結果	
		事業継続	要検討				中止	事業継続 (R7当初予算額)	事業休止
			事業継続	見直し継続	休止	中止			
農林水産部	10	10	0	0	0	0	0	10 (1,196百万円)	0
県土整備部	5	4	0	1	0	0	0	5 (546百万円)	0
合計	15 (100%)	14 (93.3%)	0 (0%)	1 (6.7%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	15 (1,742百万円)	0

２　大規模事業評価結果の反映状況（対象全23地区）

（１）事前評価　〔大規模施設整備事業（基本設計後）〕

事前評価を行った大規模施設整備事業３地区※は、**全て事業採択**としました。

所管部局	評価実施地区数	評価結果			反映結果	
		事業実施	要検討	その他	事業採択 (R7当初予算額)	不採択
保健福祉部 環境生活部	1	1	0	0	1 (467百万円)	0
教育委員会 事務局	1	1	0	0	1 (88百万円)	0
警察本部	1	1	0	0	1 (171百万円)	0
合計	3 (100%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (726百万円)	0

※　政策評価レポートの取りまとめ以降、「岩手県福祉・消費生活関連相談拠点施設（仮称）整備事業」の評価を実施。

（２）継続評価

継続評価を行った17地区は、**全て事業継続**としました。

所管部局	評価実施地区数	評価結果				反映結果	
		ＡＡ	Ａ	Ｂ	Ｃ	事業継続 (R7当初予算額)	一時休工
農林水産部	2	2	0	0	0	2 (92百万円)	0
県土整備部	15	7	8	0	0	15 (4,452百万円)	0
合計	17 (100%)	9 (52.9%)	8 (47.1%)	0 (0%)	0 (0%)	17 (4,544百万円)	0

（３）再評価

再評価を行った３地区は、**全て事業継続**としました。

所管部局	評価実施地区数	評価結果						反映結果	
		事業継続	要検討				中止	事業継続 (R7当初予算額)	事業休止
			事業継続	見直し継続	休止	中止			
農林水産部	1	1	0	0	0	0	0	1 (33百万円)	0
県土整備部	2	2	0	0	0	0	0	2 (718百万円)	0
合計	3 (100%)	3 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	3 (751百万円)	0

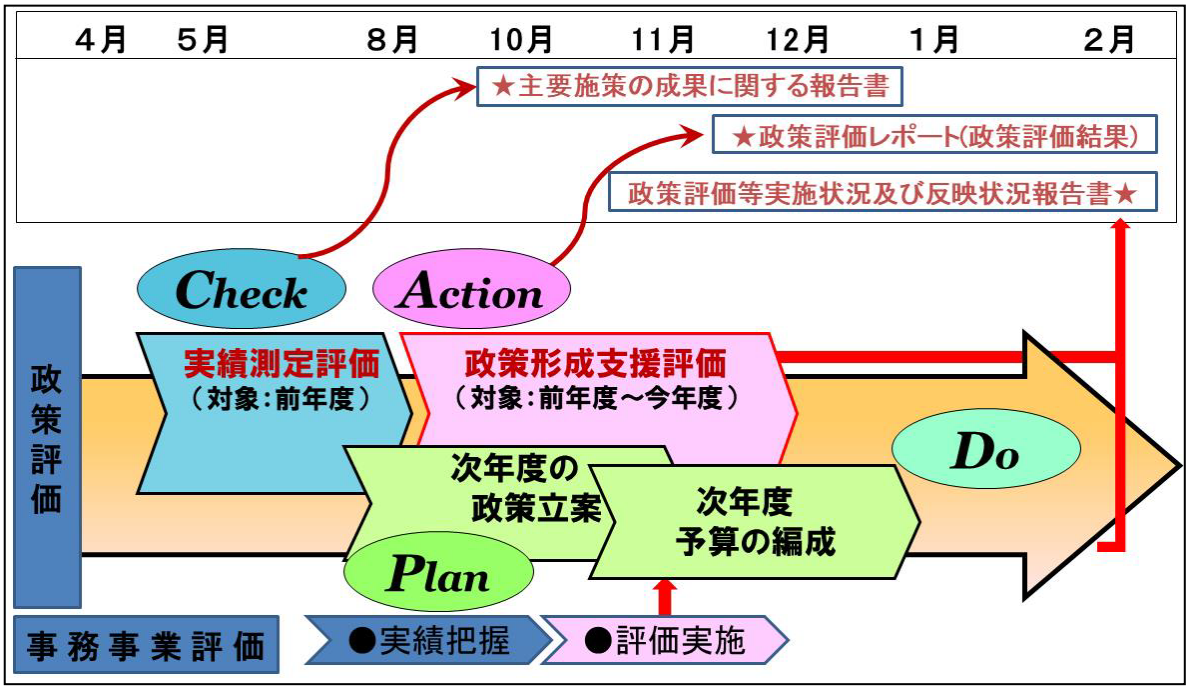
資料３

令和７年度の各専門委員会の開催予定

１　政策評価専門委員会の開催予定について

開催時期	会議の名称	会議の内容（予定）
７月	第１回専門委員会	令和６年度主要施策の成果に関する説明書
11 月	第２回専門委員会	政策評価等の取りまとめ状況（政策評価レポート 2025）
２月	政策評価委員会	正副委員長の選任、各専門委員会委員の指名 令和７年度政策評価結果等の政策等への反映状況
	第３回専門委員会	正副専門委員長の選任 次年度の専門委員会の開催予定

（全体の流れ）



２　公共事業評価専門委員会の開催予定について

（１）　審議案件

〇再評価結果の審議

令和７年度に再評価を予定している事業地区は 12 地区。（下表参照）

第１回委員会において、再評価対象全地区の概要説明を行い、第２回委員会以降で詳細審議を行う地区を選定します。

番号	課　名	事　業　名	路線名等	箇所名	総事業費（単位：百万円）	事業着手年度	事業完了予定年度	再評価の要件※	令和６年度末の進捗率(%)
農林水産部									
1	農村建設課	経営体育成基盤整備事業		小猪岡	3,059	H28	R10	②	62.1%
2	農村建設課	経営体育成基盤整備事業		清田	2,650	H28	R9	②	83.2%
3	農村建設課	農道整備事業		袰主	1,594	H23	R9	③	61.3%
4	森林保全課	林道整備事業	朴舘	一戸町	500	H28	R9	②	62.1%
5	森林保全課	林道整備事業	畑福	葛巻町	1,920	H18	R8	③	52.3%
県土整備部									
6	道路建設課	地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）	一般国道340号	和井内～押角	1,800	R2	R8	⑤	38.4%
7	砂防災害課	急傾斜地崩壊対策事業	釜石市	源太沢・源太沢（３）	280	R4	R9	⑤	23.6%
8	河川課	総合流域防災事業（河川）	一級河川北上川水系広瀬川	奥州市	4,321	H3	R15	③	27.4%
9	河川課	治水施設整備事業	一級河川北上川水系砂鉄川・曽慶川	一関市大東町流矢ほか	850	H28	R9	③	19.3%
10	河川課	治水施設整備事業	一級河川馬淵川水系安比川	八幡平市浅沢	990	H13	R13	③	53.4%
11	河川課	治水施設整備事業	一級河川北上川水系本郷川	北上市鷹鳥羽	240	H21	R10	③	37.5%
12	河川課	広域河川改修事業	一級河川北上川水系千厩川（上流）	一関市	3,383	H8	R8	③	70.0%

※１「総事業費」、「事業完了年度」等は、令和６年 11 月発行「政策評価レポート 2024」時のものです。

※２ 再評価の要件

① 事業に着手した年度から起算して５年度内に未着工の事業

② 事業に着手した年度から起算して 10 年度内に完了が見込まれない事業（再評価を行う翌年度内に完了が見込まれるものは除く。）

③ 再評価を行った年度の翌年度から起算して５年度又は 10 年度内に完了する見込みがない事業（再々評価）（再評価を行う翌年度内に完了が見込まれるものは除く。）

④ 事業の準備又は実施計画に係る調査に要する費用が予算に計上された年度から起算して５年度内に事業に着手する見込みがない事業（地域高規格道路及びダム事業に限る）

⑤ 社会経済情勢の急激な変化、事業計画の重要な変更等により、再評価を実施する必要があると判断した事業（随時再評価）

⑥ 国の補助に係る事業の評価に関して国から別に指針等が示された場合で、当該指針等に従って評価を実施する必要があると判断した事業（随時再評価）

（２）　報告案件

〇事後評価結果の報告（２件）

事業の種類	事業名	箇所名	主な事業内容	総事業費（百万円）	着手年度	完了年度	事前評価年度	再評価年度
農業農村整備事業	畑地帯総合整備事業	二戸市	畑かん施設　121.3ha 農道　2,940m	1,541	H21	R2	H20	－
道路事業（道路環境）	道路環境改善事業（交通安全施設整備）	大川目	歩道設置 L=840m	289	H26	R3	H22	－

（3） 年間スケジュール

開催時期	専門委員会	再評価（審議）	事後評価（報告）	備　考
6月	第1回専門委員会	○		概要説明 詳細審議案件の選定
7月	第2回専門委員会	○		詳細審議
8月	第3回専門委員会（現地調査）	○		継続審議・現地調査
9月	第4回専門委員会	○	○	継続審議･事後評価報告
10月	第5回専門委員会（予備）	○		継続審議・答申案検討
2月	第6回専門委員会			翌年度スケジュール等

※　審議等の進捗状況に応じて、時期及び審議回数は変更する場合があります。

3　大規模事業評価専門委員会の開催予定について

（1）　審議案件

① 地域連携道路整備事業（地域密着型）一般県道大ケ生徳田線　徳田橋【県土整備部】
（公共　再々評価）＜盛岡市、矢巾町＞

② 木賊川広域河川改修事業【県土整備部】
（公共　再々々々々評価）＜盛岡市、滝沢市＞

③ 北上川（上流）広域河川改修事業【県土整備部】
（公共　再々評価）＜岩手町＞

④ 気仙川広域河川改修事業【県土整備部】
（公共　随時再評価）＜住田町＞

※　事前評価や随時再評価の必要が生じた事業があった場合には、上記案件以外にも審議をお願いすることがあります。

（2）　報告案件

① 大船渡漁港整備事業【農林水産部】
（公共　事後評価）＜大船渡市＞

② 梁川ダム建設事業【県土整備部】
（公共　事後評価）＜盛岡市＞

③ 岩手県立福岡工業高等学校改築等事業【教育委員会事務局】
（施設　事後評価）＜二戸市＞

（3）　年間スケジュール

時　期	専門委員会等の内容	備　考
6月	第1回専門委員会（審議）	諮問審議 ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸｺﾒﾝﾄの実施
7月	第2回専門委員会（現地調査）	継続審議
8月	第3回専門委員会（審議）	継続審議、答申案の検討 事後評価報告
9月	専門委員会（予備日）	
11月	第4回専門委員会（審議）	諮問審議 ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸｺﾒﾝﾄの実施
1月	第5回専門委員会（審議）	継続審議、答申案の検討
1月	専門委員会（予備日）	
2月	第6回専門委員会（審議）	翌年度スケジュール等

※　審議の進捗状況等に応じて、時期及び審議回数は変更する場合があります（第４回及び第５回専門委員会は、上記１の案件以外が生じた場合の開催予定です）。

参考資料

いわて県民計画（2019～2028）第２期アクションプラン（政策推進プラン）の見直しについて

１　概要

○　県では、「第２期アクションプラン（政策推進プラン）」において、施策の進捗をチェックするために**「具体的推進方策指標」**を490指標設定し、令和８年度に目指す目標を立てて、政策の推進に取り組んでいます。

○　今般、**コロナ５類移行による社会経済活動の活性化など**により、既に複数の指標が目標値を達成する状況となったこと等を勘案し、達成した**目標値の状況や要因等を踏まえ、42指標の目標値等を見直し**ました（別冊）。

見直し区分	指標数	上方修正	下方修正	その他	指標変更
A　コロナ５類移行に伴う社会経済活動の活性化により、最終目標値を達成している指標	14	14			
B　コロナ禍等を契機としたＤＸの進展等により、最終目標値を達成している指標	11	11			
C　その他見直しが必要な指標	17	8	3	2	4
①-１　制度改正等により、目標値の見直しが必要な指標	（7）	（5）		（2）	
①-２　制度改正等により、指標の見直しが必要な指標	（4）				（4）
②　直近の社会情勢等を踏まえて策定又は改訂された各部局等が所管する個別計画の考え方を勘案して目標値の見直しを行う指標	（6）	（3）	（3）		
計	42	33	3	2	4

２　見直しまでの主なスケジュール

９月13日　第106回岩手県総合計画審議会（見直し方針について）

11月18日　県議会12月定例会提出予定議案等説明会（見直しについて）

11月22日　第107回岩手県総合計画審議会（見直しについて）

12月　公表

【上方修正（33指標）の例】

指標の例	実績(R5)	目標値の見直し内容						R5実績がR8目標値を達成した要因	目標値の見直しの考え方
		見直し前			見直し後				
		R6	R7	R8	R6	R7	R8		
主要ジオサイトの観光入込客数（千人）	1,284	1,060	1,140	1,220	1,310	1,335	1,360	【区分Ａ】**５類移行に伴う社会経済活動の活性化**（５類移行に伴う観光客数の増加、ジオパークエリアと重複するみちのく潮風トレイルの利用者の増加）	５類移行後における**R5年観光入込客数のR4年比（1.8%）**を参考に、R8で1,360千人を目標とするもの。
クルーズ船寄港回数（回）	10	6	8	10	13	18	20	【区分Ａ】**５類移行に伴う社会経済活動の活性化**（令和５年度に、国内への外国船社クルーズ船の寄港が再開され、本県港湾にも多く寄港）	**５類移行の寄港再開**に加え、**今後更なる寄港数の増加**を目指し、R8で20回を目標とするもの。
オンライン診療実施体制整備医療機関数〔累計〕（箇所）	81	36	41	46	100	120	140	【区分Ｂ】**コロナ禍等におけるDXの進展等**（コロナや医療DX推進を受けて、オンライン診療の体制を整備する医療機関が大幅に増加）	**医療DXの進展を受けたオンライン診療の更なる普及**に向けて、引き続き医療機関の設備整備を支援し、R8で140件を目指すもの。
◆観光消費額単価（外国人・宿泊）（千円）	55.5	64.2	64.2	64.2	66.6	67.2	67.8	―	【区分Ｃ②】**みちのく岩手観光立県第４期基本計画（R6.3月策定）**の考え方を勘案するもの。

【下方修正（３指標）】　　〈見直し区分Ｃ②〉

指標	実績(R5)	目標値の見直し内容						目標値の見直しの考え方
		見直し前			見直し後			
		R6	R7	R8	R6	R7	R8	
医療施設（病院、診療所）勤務医師数（人）	－	④ 2,631	－	⑥ 2,753	④ 2,569	-	⑥ 2,629	**岩手県医師確保計画（第８次）（R6.3月策定）**の考え方を勘案するもの。
奨学金養成医師及び医師招へいによる県内従事者数（人）	231	305	342	382	269	303	334	同上
特別養護老人ホームの入所定員数（地域密着型を含む）（人）	9,406	9,819	9,935	9,951	9,502	9,624	9,799	**いわていきいきプラン（2024～2026）（R6.3月策定）**の考え方を勘案するもの。

【その他（２指標）】　　〈見直し区分Ｃ①-1〉

指標	実績(R5)	目標値の見直し内容						目標値の見直しの考え方
		見直し前			見直し後			
		R6	R7	R8	R6	R7	R8	
岩手型住宅賛同事業者による県産木材を使用した岩手型住宅建設戸数の割合（%） ※　再掲を含めて延べ２指標	53.8 （見直し前） 17.8 （見直し後）	28.4	30.0	32.0	18.8	20.0	21.5	**「岩手型住宅」の要件厳格化**により、現行の目標値とは前提条件が異なることとなったことから、目標値を適切な水準に改めるもの。 ※　数値上は下方修正であるが、前提条件が変わることから、「その他」の修正と整理

【指標変更（４指標）】　　〈見直し区分Ｃ①-2〉

指標・目標値								指標と目標値の見直しの考え方
見直し前				見直し後				
R5 実績	R6	R7	R8	R5 現状値	R6	R7	R8	
周産期救急患者搬送の コーディネート件数（件） ※　再掲を含めて延べ２指標				**妊娠届出者数のうち周産期医療情報ネットワークに登録された妊婦の割合**（%）				・これまでは、**患者搬送時点におけるコーディネート**が主な対応であったが、現在は、**救急搬送に至る前**に、リスクがある妊産婦からの**計画的な事前相談**や、**医療機関同士の円滑な事前調整**が図られるなど、医療機関の役割分担と連携が進展。 ・このことから、これらの取組の基となる周産期医療情報ネットワークの活用に係る指標に変更し、**R6以降、100%の割合とすることを目標**とするもの。
385	428	441	454	97.9	100.0	100.0	100.0	
▼介護職員の離職者に占める 勤続１年未満の者の割合（%）				**▼介護職員の離職率 （訪問介護員を含む）**（%）				・指標の実績測定に使用している**国の調査項目が廃止**されたこと、また、R4実績値が大幅に改善された一方で、**早期離職者に限らず、介護職員全体の離職状況を示す数値が悪化**したこと等を踏まえ、指標を見直すもの。 ・現状値については、R5が12.2%で、全国の離職率13.1%より低い水準にある。一方で、R3（11.2%）、R4（10.2%）と比較すると数値が悪化していることから、**R8までに、直近５カ年で最も低い10.2%を下回ることを目標**とするもの。
④ 24.4	40.6	39.6	38.6	12.2	11.5	10.8	10.1	
県内全医療機関に占める感染者情報管理システムへの登録医療機関割合（%）				**医療機関等情報支援システムにより実施状況の報告を行っている協定締結医療機関の割合**（%）				**・５類移行に伴い、指標としていたシステムが廃止**されたことから、代替指標として、**県と医療措置協定を締結した医療機関**における**医療機関等情報支援システムによる報告状況**（※）に係る指標に変更するもの。 ※　新興感染症への備えとして、**協定締結医療機関の病床数**や**物資備蓄状況**を医療機関等情報支援システムにより事前登録し、**関係機関と共有**することとしているもの。 ・現状値については、コロナ第９波で医療機関等情報支援システムを用いて各種報告を行っていた病院・診療所の率を参考として設定し、そこから**R8までに、100%の割合をとすることを目標**とするもの。
100	100	100	100	47	80	90	100	

令和５年３月に策定した、いわて県民計画（2019～2028）第２期アクションプラン「政策推進プラン（令和５年度～令和８年度）」について、新型コロナウイルス感染症の５類移行等の影響を踏まえ、具体的推進方策指標の一部を次のとおり変更した。

<table>
<tr><th>頁</th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr>
<tr><td>22</td><td>Ⅰ　健康・余暇
２　必要に応じた医療を受けることができる体制を充実します
①　医療を担う人づくり
目標
・医療施設（病院、診療所）勤務医師数（人）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>2,509</td><td>－</td><td>(R4)
2,631</td><td>－</td><td>(R6)
2,753</td></tr></table>現状値は令和２年の値</td><td>Ⅰ　健康・余暇
２　必要に応じた医療を受けることができる体制を充実します
①　医療を担う人づくり
目標
・医療施設（病院、診療所）勤務医師数（人）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>2,509</td><td>－</td><td>(R4)
2,569</td><td>－</td><td>(R6)
2,629</td></tr></table>現状値は令和２年の値</td></tr>
<tr><td>22</td><td>・奨学金養成医師及び医師招へいによる県内従事者数（人）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>187</td><td>266</td><td>305</td><td>342</td><td>382</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>・奨学金養成医師及び医師招へいによる県内従事者数（人）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>187</td><td>266</td><td>269</td><td>303</td><td>334</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>23</td><td>②　質の高い医療が受けられる体制の整備
目標
・オンライン診療実施体制整備医療機関数（箇所）〔累計〕
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>21</td><td>31</td><td>36</td><td>41</td><td>46</td></tr></table>現状値は令和３年の値、目標値は令和５年からの累計</td><td>②　質の高い医療が受けられる体制の整備
目標
・オンライン診療実施体制整備医療機関数（箇所）〔累計〕
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>21</td><td>31</td><td>100</td><td>120</td><td>140</td></tr></table>現状値は令和３年の値、目標値は令和５年からの累計</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>頁</th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr>
<tr><td>23</td><td>・周産期救急患者搬送のコーディネート件数（件）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>404</td><td>416</td><td>428</td><td>441</td><td>454</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>【過年度】
・周産期救急患者搬送のコーディネート件数（件）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>404</td><td>416</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>現状値は令和３年の値

【後年度】
・妊娠届出者数のうち周産期医療情報ネットワークに登録された妊婦の割合（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>97.9</td><td>－</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr></table>現状値は令和５年の値</td></tr>
<tr><td>28</td><td>３　介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境をつくります
①　互いに認め合い、共に支え合う福祉コミュニティづくりの推進
目標
・ひとにやさしい駐車場利用証制度駐車区画数（区画）〔累計〕
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>1,079</td><td>1,100</td><td>1,110</td><td>1,120</td><td>1,130</td></tr></table>現状値は令和３年の値、目標値は現状値からの累計</td><td>３　介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して生活できる環境をつくります
①　互いに認め合い、共に支え合う福祉コミュニティづくりの推進
目標
・ひとにやさしい駐車場利用証制度駐車区画数（区画）〔累計〕
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>1,079</td><td>1,100</td><td>1,150</td><td>1,170</td><td>1,190</td></tr></table>現状値は令和３年の値、目標値は現状値からの累計</td></tr>
<tr><td>30</td><td>⑤　介護を要する高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる環境の整備
目標
・特別養護老人ホームの入所定員数（地域密着型を含む）（人）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>9,156</td><td>9,704</td><td>9,819</td><td>9,935</td><td>9,951</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>⑤　介護を要する高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる環境の整備
目標
・特別養護老人ホームの入所定員数（地域密着型を含む）（人）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>9,156</td><td>9,704</td><td>9,502</td><td>9,624</td><td>9,799</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>頁</th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr>
<tr><td>31</td><td>⑧　福祉人材の育成・確保
目標
・介護職員の離職者に占める勤続１年未満の者の割合（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>42.6</td><td>41.6</td><td>40.6</td><td>39.6</td><td>38.6</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>⑧　福祉人材の育成・確保
目標
【過年度】
・介護職員の離職者に占める勤続１年未満の者の割合（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>42.6</td><td>41.6</td><td>ー</td><td>ー</td><td>ー</td></tr></table>現状値は令和３年の値

【後年度】
・介護職員の離職率（訪問介護員を含む）（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>12.2</td><td>ー</td><td>11.5</td><td>10.8</td><td>10.1</td></tr></table>現状値は令和５年の値</td></tr>
<tr><td>36</td><td>４　幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます
①　県民が日常的に文化芸術に親しむ機会の充実
目標
・県主催文化芸術公演のオンライン視聴回数（回）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>3,782</td><td>3,980</td><td>4,170</td><td>4,360</td><td>4,550</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>４　幅広い分野の文化芸術に親しみ、生涯を通じてスポーツを楽しむ機会を広げます
①　県民が日常的に文化芸術に親しむ機会の充実
目標
・県主催文化芸術公演のオンライン視聴回数（回）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>3,782</td><td>3,980</td><td>9,170</td><td>9,610</td><td>10,050</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>37</td><td>④　ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実
目標
・県営スポーツ施設の利用者数（万人）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>64</td><td>77</td><td>78</td><td>79</td><td>80</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>④　ライフステージに応じたスポーツを楽しむ機会の充実
目標
・県営スポーツ施設の利用者数（万人）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>64</td><td>77</td><td>92</td><td>92</td><td>92</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>頁</th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr>
<tr><td>42</td><td>5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります
① 多様な学習機会の充実
目標
・生涯学習情報提供システム（データベース）利用件数（件）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>4,166</td><td>4,550</td><td>4,750</td><td>4,950</td><td>5,150</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>5 生涯を通じて学び続けられる場をつくります
① 多様な学習機会の充実
目標
・生涯学習情報提供システム（データベース）利用件数（件）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>4,166</td><td>4,550</td><td>5,820</td><td>6,000</td><td>6,180</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>54</td><td>Ⅱ 家族・子育て
6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります
② 安全・安心な出産環境の整備
目標
・周産期救急患者搬送のコーディネート件数（件）【再掲】
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>404</td><td>416</td><td>428</td><td>441</td><td>454</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>Ⅱ 家族・子育て
6 安心して子どもを生み育てられる環境をつくります
② 安全・安心な出産環境の整備
目標
【過年度】
・周産期救急患者搬送のコーディネート件数（件）【再掲】
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>404</td><td>416</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>現状値は令和３年の値

【後年度】
・妊娠届出者数のうち周産期医療情報ネットワークに登録された妊婦の割合（%）【再掲】
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>97.9</td><td>－</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>100.0</td></tr></table>現状値は令和５年の値</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>頁</th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr>
<tr><td>60</td><td>7　地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます
①　学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり
目標
・保護者や地域住民による教育支援活動が行われている学校の割合（%）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>小 76.9</td><td>78.0</td><td>78.5</td><td>79.0</td><td>79.5</td></tr><tr><td>中 57.8</td><td>61.8</td><td>63.8</td><td>65.8</td><td>67.8</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>7　地域やコミュニティにおいて、学校と家庭、住民が協働して子どもの育ちと学びを支えます
①　学校・家庭・地域の連携の仕組みづくり
目標
・保護者や地域住民による教育支援活動が行われている学校の割合（%）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>小 76.9</td><td>78.0</td><td>95.9</td><td>95.9</td><td>95.9</td></tr><tr><td>中 57.8</td><td>61.8</td><td>88.0</td><td>89.0</td><td>90.0</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>80</td><td>Ⅲ 教育
11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます
①　これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成
目標
・教育課程全体で「話すこと」「書くこと」等の言語活動の充実を図っている学校の割合（%）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>高 -</td><td>53</td><td>54</td><td>55</td><td>56</td></tr></table></td><td>Ⅲ 教育
11 【知育】児童生徒の確かな学力を育みます
①　これからの社会で活躍するために必要な資質・能力の育成
目標
・教育課程全体で「話すこと」「書くこと」等の言語活動の充実を図っている学校の割合（%）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>高 -</td><td>53</td><td>86</td><td>87</td><td>88</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>81</td><td>②　児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実
目標
・諸調査結果や日々の授業から明らかになった児童生徒のつまずきに着目した授業改善を行っている学校の割合（%）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>高 -</td><td>53</td><td>55</td><td>57</td><td>59</td></tr></table></td><td>②　児童生徒の実態に応じた授業改善の推進と家庭学習の充実
目標
・諸調査結果や日々の授業から明らかになった児童生徒のつまずきに着目した授業改善を行っている学校の割合（%）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>高 -</td><td>53</td><td>80</td><td>81</td><td>82</td></tr></table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>頁</th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr>
<tr><td>115</td><td>18 地域に貢献する人材を育てます
⑤　建設業の将来を担う人材の確保、育成
目標
・県営建設工事におけるＩＣＴ活用工事の実施件数（件）
〔累計〕【再掲】
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>73</td><td>91</td><td>106</td><td>125</td><td>148</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>18 地域に貢献する人材を育てます
⑤　建設業の将来を担う人材の確保、育成
目標
・県営建設工事におけるＩＣＴ活用工事の実施件数（件）
〔累計〕【再掲】
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>73</td><td>91</td><td>183</td><td>213</td><td>243</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>125</td><td>20 高等教育機関と連携した地域づくり・人づくりを進めます
②　地域をけん引する人材の育成と若者定着の促進
目標
・高大連携ウインター・セッションへの参加者数（人）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>－</td><td>700</td><td>710</td><td>720</td><td>730</td></tr></table></td><td>20 高等教育機関と連携した地域づくり・人づくりを進めます
②　地域をけん引する人材の育成と若者定着の促進
目標
・高大連携ウインター・セッションへの参加者数（人）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>－</td><td>700</td><td>1,020</td><td>1,030</td><td>1,040</td></tr></table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>頁</th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr>
<tr><td>133</td><td>Ⅳ　居住環境・コミュニティ
21　快適で豊かな暮らしを支える生活環境をつくります
①　快適に暮らせる良質で環境に配慮した居住環境づくり
目標

・岩手型住宅賛同事業者による県産木材を使用した岩手型住宅建設戸数の割合（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>23.6</td><td>26.8</td><td>28.4</td><td>30.0</td><td>32.0</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>Ⅳ　居住環境・コミュニティ
21　快適で豊かな暮らしを支える生活環境をつくります
①　快適に暮らせる良質で環境に配慮した居住環境づくり
目標
【過年度】
・岩手型住宅賛同事業者による県産木材を使用した岩手型住宅建設戸数の割合（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>23.6</td><td>26.8</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>現状値は令和３年の値

【後年度】
・岩手型住宅賛同事業者による県産木材を使用した岩手型住宅建設戸数の割合（岩手型住宅ガイドラインの改訂後（令和６年３月）の基準によるもの）（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>17.8</td><td>－</td><td>18.8</td><td>20.0</td><td>21.5</td></tr></table>現状値は令和５年の値</td></tr>
<tr><td>137</td><td>22　地域の暮らしを支える公共交通を守ります
①　広域バス路線や鉄道路線の維持・確保
目標
・ＩＧＲいわて銀河鉄道の１日当たりの運行本数（本）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>65</td><td>65</td><td>65</td><td>65</td><td>65</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>22　地域の暮らしを支える公共交通を守ります
①　広域バス路線や鉄道路線の維持・確保
目標
・ＩＧＲいわて銀河鉄道の１日当たりの運行本数（本）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>65</td><td>65</td><td>71</td><td>71</td><td>71</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>137</td><td>③　地域公共交通の利用促進
目標
・乗合バス事業者のノンステップバスの導入率（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>38.9</td><td>41.0</td><td>42.0</td><td>43.0</td><td>44.0</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>③　地域公共交通の利用促進
目標
・乗合バス事業者のノンステップバスの導入率（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>38.9</td><td>41.0</td><td>46.4</td><td>47.0</td><td>47.7</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>頁</th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr>
<tr><td>147</td><td>25　海外の多様な文化を理解し、共に生活できる地域づくりを進めます
①　外国人県民等が暮らしやすい環境づくり
目標
・国際交流センター来館者数（人）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>65,509</td><td>83,600</td><td>94,500</td><td>106,800</td><td>120,600</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>25　海外の多様な文化を理解し、共に生活できる地域づくりを進めます
①　外国人県民等が暮らしやすい環境づくり
目標
・国際交流センター来館者数（人）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>65,509</td><td>83,600</td><td>133,600</td><td>141,900</td><td>150,800</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>147</td><td>・岩手県国際交流協会ホームページアクセス件数（件）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>370,766</td><td>238,000</td><td>238,000</td><td>238,000</td><td>238,000</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>・岩手県国際交流協会ホームページアクセス件数（件）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>370,766</td><td>238,000</td><td>269,600</td><td>283,000</td><td>297,200</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>151</td><td>26　文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります
①　文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進
目標
・県主催文化芸術公演のオンライン視聴回数（回）【再掲】
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>3,782</td><td>3,980</td><td>4,170</td><td>4,360</td><td>4,550</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>26　文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります
①　文化芸術を生かした人的・経済的な交流の推進
目標
・県主催文化芸術公演のオンライン視聴回数（回）【再掲】
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>3,782</td><td>3,980</td><td>9,170</td><td>9,610</td><td>10,050</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>173</td><td>V　安全
30　感染症による脅威から一人ひとりの暮らしを守ります
①　感染症の発生やまん延を防止する対策の推進
目標
・感染症専門人材育成研修会参加人数（人）〔累計〕
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>2</td><td>3</td><td>6</td><td>9</td><td>12</td></tr></table>現状値は令和３年単年の値、目標値は令和５年からの累計</td><td>V　安全
30　感染症による脅威から一人ひとりの暮らしを守ります
①　感染症の発生やまん延を防止する対策の推進
目標
・感染症専門人材育成研修会参加人数（人）〔累計〕
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>2</td><td>3</td><td>67</td><td>85</td><td>103</td></tr></table>現状値は令和３年単年の値、目標値は令和５年からの累計</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>頁</th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr>
<tr><td>173</td><td>・県内全医療機関に占める感染者情報管理システムへの
登録医療機関割合（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>－</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr></table>目標値は令和５年からの累計</td><td>【過年度】
・県内全医療機関に占める感染者情報管理システムへの
登録医療機関割合（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>－</td><td>100</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>目標値は令和５年からの累計

【後年度】
・医療機関等情報支援システムにより実施状況の報告を行っている
協定締結医療機関の割合（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>47.0</td><td>－</td><td>80.0</td><td>90.0</td><td>100.0</td></tr></table>現状値は令和５年の値</td></tr>
<tr><td>192</td><td>Ⅵ　仕事・収入
32　地域経済を支える中小企業の振興を図ります
⑤　多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出
目標
・にぎわいや魅力づくりにつながる活動に取り組む商店街
の割合（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>61.9</td><td>61.5</td><td>62.5</td><td>63.5</td><td>64.5</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>Ⅵ　仕事・収入
32　地域経済を支える中小企業の振興を図ります
⑤　多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出
目標
・にぎわいや魅力づくりにつながる活動に取り組む商店街
の割合（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>61.9</td><td>61.5</td><td>72.6</td><td>73.6</td><td>74.6</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>192</td><td>⑥　建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上、
経営基盤の強化
・県営建設工事におけるＩＣＴ活用工事の実施件数（件）〔累計〕
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>73</td><td>91</td><td>106</td><td>125</td><td>148</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>⑥　建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上、
経営基盤の強化
・県営建設工事におけるＩＣＴ活用工事の実施件数（件）〔累計〕
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>73</td><td>91</td><td>183</td><td>213</td><td>243</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>頁</th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr>
<tr><td>209</td><td>35　地域経済に好循環をもたらす観光産業を盛んにします
①　魅力的な観光地域づくりの推進
目標
・観光消費額単価（外国人・宿泊）（千円）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>64.2</td><td>64.2</td><td>64.2</td><td>64.2</td><td>64.2</td></tr></table>現状値は令和２年の値</td><td>35　地域経済に好循環をもたらす観光産業を盛んにします
①　魅力的な観光地域づくりの推進
目標
・観光消費額単価（外国人・宿泊）（千円）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>64.2</td><td>64.2</td><td>66.6</td><td>67.2</td><td>67.8</td></tr></table>現状値は令和２年の値</td></tr>
<tr><td>211</td><td>④　観光ＤＸによる観光推進体制の強化
目標
・本県への再来訪意向を持つ人の割合（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>85.0</td><td>85.0</td><td>85.0</td><td>85.0</td><td>85.0</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>④　観光ＤＸによる観光推進体制の強化
目標
・本県への再来訪意向を持つ人の割合（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>85.0</td><td>85.0</td><td>85.4</td><td>85.8</td><td>86.2</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>229</td><td>37　収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくります
②　革新的な技術の開発と導入促進
目標
・水田の水管理支援システム導入経営体数（経営体）〔累計〕
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>20</td><td>30</td><td>35</td><td>40</td><td>45</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>37　収益力の高い「食料・木材供給基地」をつくります
②　革新的な技術の開発と導入促進
目標
・水田の水管理支援システム導入経営体数（経営体）〔累計〕
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>20</td><td>30</td><td>67</td><td>76</td><td>85</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>232</td><td>⑤　鳥獣被害や松くい虫・ナラ枯れ被害の防止対策の推進
・松くい虫による被害量（千㎥）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>19</td><td>18</td><td>17</td><td>16</td><td>15</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>⑤　鳥獣被害や松くい虫・ナラ枯れ被害の防止対策の推進
・松くい虫による被害量（千㎥）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>19</td><td>18</td><td>15</td><td>14</td><td>13</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>頁</th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr>
<tr><td>257</td><td>Ⅷ　自然環境
42　多様で優れた環境を守り、次世代に引き継ぎます
⑥　環境学習の推進と県民等との連携・協働の取組の促進
目標
・環境学習交流センター利用者数（人）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>33,258</td><td>41,000</td><td>41,000</td><td>41,000</td><td>41,000</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>Ⅷ　自然環境
42　多様で優れた環境を守り、次世代に引き継ぎます
⑥　環境学習の推進と県民等との連携・協働の取組の促進
目標
・環境学習交流センター利用者数（人）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>33,258</td><td>41,000</td><td>45,000</td><td>45,000</td><td>45,000</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>257</td><td>⑦　三陸ジオパークに関する取組の推進
・主要ジオサイトの観光入込客数（千人）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>1,003</td><td>980</td><td>1,060</td><td>1,140</td><td>1,220</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>⑦　三陸ジオパークに関する取組の推進
・主要ジオサイトの観光入込客数（千人）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>1,003</td><td>980</td><td>1,310</td><td>1,335</td><td>1,360</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>260</td><td>43　循環型地域社会の形成を進めます
①　廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進
目標
・エコ協力店いわて認定店舗数（店舗）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>301</td><td>301</td><td>301</td><td>301</td><td>301</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>43　循環型地域社会の形成を進めます
①　廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進
目標
・エコ協力店いわて認定店舗数（店舗）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>301</td><td>301</td><td>323</td><td>323</td><td>323</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>261</td><td>②　災害に強く持続可能な廃棄物処理体制の構築
・一般廃棄物の焼却施設処理量（千トン）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>339</td><td>(R4)
335</td><td>(R5)
333</td><td>(R6)
331</td><td>(R7)
329</td></tr></table>現状値は令和２年の値</td><td>②　災害に強く持続可能な廃棄物処理体制の構築
・一般廃棄物の焼却施設処理量（千トン）
<table><tr><th>現状値</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th></tr><tr><td>339</td><td>(R4)
335</td><td>(R5)
327</td><td>(R6)
325</td><td>(R7)
323</td></tr></table>現状値は令和２年の値</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>頁</th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr>
<tr><td>261</td><td>③　産業廃棄物の適正処理の推進
・電子マニフェスト普及率（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>72</td><td>72</td><td>72</td><td>72</td><td>72</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>③　産業廃棄物の適正処理の推進
・電子マニフェスト普及率（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>72</td><td>72</td><td>85</td><td>85</td><td>85</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>265</td><td>44　地球温暖化防止に向け、脱炭素社会の形成を進めます
①　温室効果ガス排出削減対策の推進
目標
・岩手型住宅賛同事業者による県産木材を使用した岩手型住宅建設戸数の割合（%）【再掲】
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>23.6</td><td>26.8</td><td>28.4</td><td>30.0</td><td>32.0</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>44　地球温暖化防止に向け、脱炭素社会の形成を進めます
①　温室効果ガス排出削減対策の推進
目標
【過年度】
・岩手型住宅賛同事業者による県産木材を使用した岩手型住宅建設戸数の割合（%）【再掲】
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>23.6</td><td>26.8</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr></table>現状値は令和３年の値

【後年度】
・岩手型住宅賛同事業者による県産木材を使用した岩手型住宅建設戸数の割合（岩手型住宅ガイドラインの改訂後（令和６年３月）の基準によるもの）（%）【再掲】
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>17.8</td><td>－</td><td>18.8</td><td>20.0</td><td>21.5</td></tr></table>現状値は令和５年の値</td></tr>
<tr><td>275</td><td>Ⅸ　社会基盤
45　科学・情報技術を活用できる基盤を強化します
①　ＩＬＣを核とした国際研究拠点の形成と関連技術等の産業化支援
目標
・ILC講演会・イベント参加者数（人）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>4,900</td><td>5,700</td><td>6,000</td><td>6,300</td><td>6,600</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>Ⅸ　社会基盤
45　科学・情報技術を活用できる基盤を強化します
①　ＩＬＣを核とした国際研究拠点の形成と関連技術等の産業化支援
目標
・ILC講演会・イベント参加者数（人）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>4,900</td><td>5,700</td><td>9,300</td><td>9,700</td><td>10,200</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>頁</th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr>
<tr><td>286</td><td>47　産業や観光振興の基盤となる社会資本を整備します
②　港湾の整備と利活用の促進
目標
・クルーズ船寄港回数（回）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>4</td><td>6</td><td>6</td><td>8</td><td>10</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>47　産業や観光振興の基盤となる社会資本を整備します
②　港湾の整備と利活用の促進
目標
・クルーズ船寄港回数（回）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>4</td><td>6</td><td>13</td><td>18</td><td>20</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>292</td><td>48　生活を支える社会資本を良好に維持管理し、次世代に引き継ぎます
③　建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上、
経営基盤の強化【再掲】
目標
・県営建設工事におけるＩＣＴ活用工事の実施件数（件）
〔累計〕【再掲】
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>73</td><td>91</td><td>106</td><td>125</td><td>148</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>48　生活を支える社会資本を良好に維持管理し、次世代に引き継ぎます
③　建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上、
経営基盤の強化【再掲】
目標
・県営建設工事におけるＩＣＴ活用工事の実施件数（件）
〔累計〕【再掲】
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>73</td><td>91</td><td>183</td><td>213</td><td>243</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>301</td><td>X　参画
49　性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくります
②　若者の活躍支援
目標
・若者活躍支援イベント参加者の満足度割合（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>82.6</td><td>83.0</td><td>83.0</td><td>83.0</td><td>83.0</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td><td>X　参画
49　性別や年齢、障がいの有無にかかわらず活躍できる社会をつくります
②　若者の活躍支援
目標
・若者活躍支援イベント参加者の満足度割合（%）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>82.6</td><td>83.0</td><td>90.0</td><td>90.0</td><td>90.0</td></tr></table>現状値は令和３年の値</td></tr>
<tr><td>301</td><td>目標
・いわて若者交流ポータルサイト新規登録団体数（団体）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>－</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr></table></td><td>目標
・いわて若者交流ポータルサイト新規登録団体数（団体）
<table><tr><td>現状値</td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td><td>R8</td></tr><tr><td>－</td><td>4</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td></tr></table></td></tr>
</table>